



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 THEグローバル社

コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永嶋 秀和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 岡田 一男

TEL 03-3345-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	21,835	61.2	863	38.3	522	265.8	286	—
25年6月期第3四半期	13,542	△18.1	624	△57.1	142	△88.4	6	△99.1

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 288百万円 (—%) 25年6月期第3四半期 20百万円 (△97.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	21.95	20.71
25年6月期第3四半期	0.49	0.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第3四半期	25,512	5,106	19.7	383.45
25年6月期	24,579	4,996	20.0	377.26

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 5,030百万円 25年6月期 4,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年6月期	—	0.00	—		
26年6月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,859	62.1	2,371	44.7	1,801	72.8	1,052	93.1	80.83

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年6月期3Q	13,118,600 株	25年6月期	13,022,200 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	76 株	25年6月期	76 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年6月期3Q	13,065,046 株	25年6月期3Q	12,904,417 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続きが実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国、欧州の財政問題や、中国経済や新興国経済の成長鈍化等による世界経済の不確実性が残るものの、政府の経済対策効果や消費税増税前の駆け込み需要、企業活動の活性化等により下支えされ、緩やかな回復基調になりました。今後も総じて日本経済は回復経路に復していくことが予想されますが、周辺国との政治的緊張、不安定さを増す東欧国際情勢と駆け込み需要の反動等の影響もあり、為替、株式市況、金利等や足下の景気動向は若干不透明な状況が続くものと思われま

す。当社グループが属する不動産業界におきましても、低金利融資や住宅ローン減税の継続等により、市場全般において概ね順調に推移しました。また、平成26年3月の株式会社不動産経済研究所調査による首都圏新築分譲マンションの契約率は79.8%と好不調の目安になる70%を14か月連続で上回りました。今後も建築費の高騰、地価の上昇や消費税増税等の影響がありつつも、今暫くは底堅く推移するものと考えております。

このような環境下、当社グループにおきましては、マンション事業と戸建事業を事業の二本柱により、多様化するお客様ニーズに対応した家づくりに注力いたしました。

マンション事業におきましては、日本橋エリアを中心にコンパクトからファミリータイプのデザインに優れた高品質な「ウィルローズ」シリーズのブランド形成を図り、概ね好調に販売推移しております。

戸建事業におきましては、建売住宅が概ね順調に推移しております。また、建売住宅に選ぶという楽しさを盛り込んだ「H O U S T Y L E (ハウスタイル)」の商品開発に注力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は21,835百万円(前年同四半期比61.2%増)、営業利益は863百万円(前年同四半期比38.3%増)、経常利益は522百万円(前年同四半期比265.8%増)、四半期純利益は286百万円(前年同四半期は四半期純利益6百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。

なお、売上高の金額につきましては、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ小伝馬町」、「ウィルレーナ日本橋三越前」、「ウィルローズ蔵」、「ウィルローズさいたま新都心」等、合計327戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は11,474百万円(前年同四半期比48.5%増)、営業利益は905百万円(前年同四半期比4.1%増)となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「墨田区立花プロジェクト」、「神奈川区神之木台プロジェクト」、「東久留米市滝山2期プロジェクト」、「藤沢市本藤沢プロジェクト」、「町田市図師プロジェクト」等、合計262戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9,507百万円(前年同四半期比78.7%増)、営業利益は337百万円(前年同四半期比122.6%増)となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、東京都区部で10物件310戸、東京都下で2物件48戸、神奈川県で2物件30戸、埼玉県で3物件92戸、合計17物件480戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,014百万円(前年同四半期比83.8%増)、営業利益は293百万円(前年同四半期は営業損失70百万円)となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、マンション管理が順調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は215百万円(前年同四半期比22.1%増)、営業利益は34百万円(前年同四半期比24.4%増)となりました。

[その他]

その他におきましては、賃貸用不動産から賃料収入を確保しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は99百万円(前年同四半期比21.0%増)、営業利益は66百万円(前年同四半期比9.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ933百万円増加し、25,512百万円となりました。負債については前連結会計年度末から823百万円増加し、20,405百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から109百万円増加し、5,106百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な要因については、現金及び預金が1,589百万円減少したこと、仕掛販売用不動産が3,137百万円増加したことによるものであります。負債の主な要因については、新規物件の取得に伴い有利子負債が2,766百万円増加したこと、前受金が301百万円増加したこと、及び買掛金が903百万円減少したことによるものであります。また、純資産の主な要因としては、利益剰余金が91百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 6 月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成26年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,154,448	1,564,782
売掛金	109,196	8,893
完成工事未収入金	73,187	80,065
販売用不動産	3,366,241	3,273,774
仕掛販売用不動産	14,246,934	17,384,736
前払費用	1,343,313	1,207,869
繰延税金資産	68,423	62,426
その他	488,604	233,253
貸倒引当金	△4,500	—
流動資産合計	22,845,851	23,815,802
固定資産		
有形固定資産	1,302,674	1,288,890
無形固定資産	18,703	21,813
投資その他の資産		
投資有価証券	68,911	67,684
関係会社株式	—	10,000
破産更生債権等	133,800	133,049
その他	342,903	317,001
貸倒引当金	△133,800	△142,049
投資その他の資産合計	411,814	385,686
固定資産合計	1,733,192	1,696,390
資産合計	24,579,043	25,512,193
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,921,582	1,017,863
短期借入金	2,678,500	3,046,309
1年内返済予定の長期借入金	5,665,390	10,267,450
1年内償還予定の社債	575,000	400,000
未払金	395,720	147,481
未払法人税等	286,960	177,965
未払消費税等	4,657	27,422
前受金	932,899	1,234,856
賞与引当金	13,933	63,004
繰延税金負債	980	—
その他	1,188,383	133,448
流動負債合計	13,664,008	16,515,801
固定負債		
社債	400,000	—
長期借入金	5,464,000	3,836,080
繰延税金負債	6,639	6,721
その他	47,562	47,040
固定負債合計	5,918,201	3,889,841
負債合計	19,582,210	20,405,643

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 6 月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成26年 3 月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	374, 982	387, 108
資本剰余金	1, 321, 211	1, 333, 337
利益剰余金	3, 207, 611	3, 299, 014
自己株式	△33	△33
株主資本合計	4, 903, 772	5, 019, 426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11, 984	11, 443
為替換算調整勘定	△3, 007	△636
その他の包括利益累計額合計	8, 976	10, 807
新株予約権	84, 084	76, 315
純資産合計	4, 996, 833	5, 106, 550
負債純資産合計	24, 579, 043	25, 512, 193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	13,542,885	21,835,959
売上原価	10,715,191	17,609,222
売上総利益	2,827,694	4,226,737
販売費及び一般管理費	2,203,493	3,363,216
営業利益	624,201	863,521
営業外収益		
受取利息	2,442	2,663
受取手数料	18,125	17,391
解約精算金	12,094	21,279
為替差益	11,106	6,149
その他	5,316	8,207
営業外収益合計	49,085	55,691
営業外費用		
支払利息	256,026	331,177
持分法による投資損失	5,126	748
支払手数料	96,146	59,849
株式公開費用	22,289	—
貸倒引当金繰入額	134,000	4,500
その他	16,947	787
営業外費用合計	530,537	397,063
経常利益	142,749	522,149
特別利益		
固定資産売却益	—	9
投資有価証券売却益	166	—
特別利益合計	166	9
特別損失		
固定資産除却損	185	6,179
固定資産売却損	5,405	—
投資有価証券売却損	1	—
ゴルフ会員権評価損	450	8,527
特別損失合計	6,042	14,706
税金等調整前四半期純利益	136,873	507,452
法人税、住民税及び事業税	125,578	207,125
法人税等調整額	4,991	13,593
法人税等合計	130,569	220,718
少数株主損益調整前四半期純利益	6,304	286,734
四半期純利益	6,304	286,734

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,304	286,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,220	△540
為替換算調整勘定	5,172	2,058
持分法適用会社に対する持分相当額	1,824	313
その他の包括利益合計	14,218	1,830
四半期包括利益	20,522	288,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,522	288,565

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンション事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,726,523	5,321,561	238,667	174,234	13,460,986	81,898	13,542,885	—	13,542,885
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	313,457	2,418	315,875	—	315,875	△315,875	—
計	7,726,523	5,321,561	552,125	176,652	13,776,862	81,898	13,858,761	△315,875	13,542,885
セグメント利益又は 損失 (△)	869,449	151,679	△70,888	27,516	977,757	60,997	1,038,754	△414,553	624,201

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△414,553千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マンション事業	戸建事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,474,581	9,507,784	540,048	214,483	21,736,897	99,061	21,835,959	—	21,835,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	474,913	1,202	476,116	—	476,116	△476,116	—
計	11,474,581	9,507,784	1,014,962	215,686	22,213,014	99,061	22,312,076	△476,116	21,835,959
セグメント利益	905,245	337,633	293,939	34,228	1,571,047	66,882	1,637,929	△774,408	863,521

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△774,408千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。